

「やったー!細いおイモが出てきたー!」「・・・そうだね^^;」

酷暑を乗り越え、ようやくの秋風にほっと一息。 5歳児が特別支援学校との交流で芋掘りをしました。 菜園のイモは酷暑を乗り切れなかったようで凶作。 曰く「おイモもさすがに今年は熱中症」。でも、子供 たちは「芋掘り」にかなり満足していた様子でした。

さて、ノーベル賞では京大の北川進氏が、穴の大きさを自由に変えることが可能な金属有機構造体の開発により化学賞を受賞しました。温暖化の要因とされる CO2 などを空気中から捕捉することもできるそうで、地球も少し機嫌がよくなるかもしれません。

# 風の子便り愛愛

KAZENOKO DAYORI

滋賀大学教育学部附属幼稚園

## 運動会 5 歳児リレー 一考

幼児期の運動遊びについては「遊び」なので 楽しくできることがとても大切なこと。勝敗に こだわりすぎてそのことが失われるのはおもし ろくない。「5歳児リレー」運動会に向けての取 組の中で、ずいぶんと考えました。

ゆるく遊びのリレーでも楽しいのは楽しい。 けれども今の自分を超えていきたいという思い の芽生えがいまいち見えず、「勝ちたい」という モチベーションはやはり大切なのだと実感。

チームの勝利のために「自分の100%!」 「昨日の自分よりも速く」「仲間を信じてつなぐ」 ことを大切していこうと伝えました。子供たちは 勝っても負けてもモチベーションを維持して、 チームで力いっぱい走るリレーの楽しさを存分 に味わったように思います。

どちらのチームも力を出し切りがんばった。 勝っても負けても一生懸命走って楽しかった。 そんな"いま"を生きる姿が"これから"を生き抜く 力を育み、生涯にわたる豊かなスポーツライフの 充実にもつながっていくのだと思います。

### かけつこイノベーション

3歳児の「かけっこ」は、保護者の皆さんも 一緒に楽しむかけっこにしました。初めての 行事に向き合う不安を十分に受け止め、嬉しい 経験にしてもらいたいと考えたアイデアです。 とてもうれしい顔の親子かけっこでした。

4歳児の「かけっこ」は、「**走る」**に加えて 「**動きのチェンジ」**を取り入れて多様な動きを 経験できるように工夫した取組でした。はじめ からうまくいかないのはもちろんあたりまえ。 何度も楽しむことで様々な動きが滑らかにつな がるようになっていきます。しかも次の動きの 準備をするということは、体だけでなく、脳の 発達も促すことにつながるのです。

**リズム遊びやダンス**は普段しない動きがたくさん入っているので、運動と脳の発達にとても「よい」影響があるのです。中学校でダンスが必修になったのもうなずけます。もっと楽しんでくれるといいなー。もちろん、ダンスだけでは

だめだけどね。







#### ~副園長のおしゃべり~



遠足についていきました。ホットピンクのおしゃれな(?)リュックはけっこうお気に入り。だけど、それを見た子供たちはなぜだか不思議そうな顔をして「ピンクやん・・・」と声をかけてくる。雨ふりの日に着るレインコートもマゼンダピンク。そして子供たちは「副園長先生、ピンクやん・・・」と不思議そうに声をかけてくる。私にとっては実に機能的で都合がよい。なにが?と聞かれると「どこにいても遠くからでも副園長先生があそこにいるってわかってもらえるから」と至極カンタンな理由である。と言うか、プライベートでもオレンジやピンクのTシャツを普通に着ている。目立ちたいわけではなくただ気に入っているので多様性として受け入れてほしいものだ。で、そんなことはなーんにも気にならないのだが、なぜ誰もがウサギをピンクに塗りたがるのかはとっても気になっている。なぜだ!?見解を伺いたい。

### 季節のアルバム





4歳児は琵琶湖博物館に遠足に行きました。 ディスカバリールームではたくさんの生き物と出会 うことができ、大いに興味をもって見ていました。



滋賀大学の先生、学生に教わりながら、鎌を使って稲刈りをしました。実った稲からどれくらいのお米がとれるのでしょうか。楽しみです。



ようやくビオトープデビューの3歳児。押せば水が出るポンプに行列ができました。水の中にはメダカが泳いでいます。大切に育ててね。



トンネル型の水槽はとても幻想的で、湖の中で暮らしているみたい!だそうです。希少な魚の養殖もされているとのこと。大切にしたいです。



近頃はほとんど見ることがなくなった稲架掛け。 昔は当たり前のように刈取られた後の田んぼに あったものです。まだまだ作業はつづきます。



4歳児がおどるダンスに仲間入りした3歳児。 「あこがれは成長の源」4歳児担任が共有の 場を作ったことで生まれた師弟関係です。

野球が好きで、するのも見るのも楽しい。 今は CS の真っ最中である。

ぶっちぎりで優勝したチームでも負けてしまうことがあるので

優勝したチームとしてはいらないシステムだけれど、2位3位のチームのファンにとってはありがたい。 さて、最近日本ハムファイターズの新庄監督がステキだと思っている。

選手を呼び捨てにせず「清宮くん」と「くん」をつけるのがプレイヤーを尊重していてステキだ。

試合前のあいさつでは、相手チームの監督と審判一人一人にハイタッチをする。

とても感じがいい。なので、来年のリレーでは走る前にハイタッチをしようと考えている。

スポーツの秋である。皆さんの秋は食欲?行楽?芸術?それとも月見バーガー?

入園募集の秋でもある。多くの新入園児を迎えてさらに活気あふれる園にしたい。

